

児童発達支援事業評価表 回答

	チェック項目	回答
環境・体制設備	① 子供の活動等のスペースが十分に確保されているか	室内だけの活動ではなく、公園等戸外活動の機会を取り入れ、子供たちの活動スペースの確保に取り組んでいます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	事業所内の職員会議や、社外での様々な研修等へ積極的な参加を行い、社員のスキルアップに取り組んでいます。
	③ 生活空間は本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備はバリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	現在の借家では改善は難しい状況ですが、事業所の新築なども視野に入れながら、今後改善予定です
	④ 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか	多数の“はい”という回答をいただきました。 今後も継続して取り組ませていただきます。
適切な支援の提供	⑤ 子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画が作成されているか	計画については、担当者会議やモニタリングを通しながら決定されたものになっておりますが、随時変更は可能です。疑問や希望などお伺いしますので、遠慮なく申し付けください。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供たちの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	多数の“はい”という回答をいただきました。 今後も継続して取り組ませていただきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	多数の“はい”という回答をいただきました。 今後も継続して取り組ませていただきます。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	活動プログラムは季節に応じて内容を変えるなど、職員で考慮しながら設定しています。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の無い子供と活動する機会があるか	平行通園を想定したこども園訪問は行っておりました。 今後の活動でも積極的に取り入れていく予定です
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	多数の“はい”という回答をいただきました。 今後も継続して取り組ませていただきます。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	児童発達ガイドラインの内容について、保護者の皆様に説明する機会を検討するなどしながら、事業所の運営について理解してもらう取り組みに努めていく予定です。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	今年度職員がペアレントトレーニングの研修を受講するなど、職員全体の理解に努めています。保護者の皆様にも研修受講の機会があれば、積極的にお薦めするなどして取り組んで参ります。
	⑬ 日ごろから子供たちの状況を保護者と伝えあい、子供の健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	多数の“はい”という回答をいただきました。 今後も継続して取り組ませていただきます。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	必要に応じて様々な場面の設定を行い、保護者の方々が相談できる環境づくりを行ってまいります。